

子どもを見守る、強くて美しいカバンを。

ランドセルだけで70年。本革と手作りにこだわり続ける生田（いくた）が
お届けする、「ランドセル」にまつわるお便りです。

いくた
IKUTAYORI

よ
り

26 JAN. 2024
ISSUE

002

My
ランドセル
見学ツアーに
密着



自分のランドセルがつくられる様子
を見学できるツアーを開催中。

『Myランドセル見学ツアー』が開催されました！
セレクトオーダーランドセルの購入者を対象に自分のラン
ドセルの製作途中を見学できる生田だけの特別なイベント
です。工房に入ると自分が選んだランドセルのパーツ、お
名前が入った黒板と革のカレンダーでお出迎え。「これ私
の?!」「すごい！」という声が聞こえてきます。バラバ
ラのパーツを手に取り今しか撮れない写真を撮ることがで
きるのもこのツアーならではの。そして普段は立ち入ること
ができない工房の中に潜入！この日はお子さまのランドセ
ルに金具を打ちつける作業を見学してもらいました。

「よろしく願います！」とお子様からパーツを託さ
れ、職人も気が引き締まります。足元のペダルを踏むと勢
いよく打ち棒が降り、一瞬で打ち込むことができるこの機
械。あまりの速さにお子さまもびっくり。ランドセルがま
た一歩完成に近づき、職人から笑顔でパーツを受け取りま
す。このイベントを通じて、ランドセルが「多くの人の手
によって作られていること」や「モノを大切に作る気持
ち」を育みご家族にとっての思い出の1ページとなります
ように。※見学ツアーはお客様のランドセルの製作開始
を知らせるメールに来店可能日を記載、事前予約制にてご
案内。X（旧twitter）でも見学ツアーを開催中。

VOICE

参加者のこえ

見学ツアーの感想は？



貴重なランドセルのできる前の姿を
見られて、とても嬉しいです！生田
さんに決めてよかったです。



子供が興味津々な姿が見れました。
貴重な体験をありがとうございました。
た。



親切にランドセルの製作の過程を教
えてくださりありがとうございました。
た。

Handmade Randesel

IKUTA & Co.
Since 1950

ランドセルができるまで ～割り/漉き(革の厚み調整)編～

PROCESS

01



『革の割り』

革の厚みを調整します。

実はランドセルのパーツにはそれぞれの機能に応じた厚みがあるのです。裁断した革はバンドマシンと言われる機械を使って厚みを調整する「割り」の加工を施します。革は一つとして同じものがありません。職人の経験が大事になってくる作業です。

PROCESS

02



『革の漉き』

かばんの組立には欠かせない作業です。

割った革はまだまだそのままではランドセルには使用できません。ランドセルとしてより美しい形になるように。ひっくり返したり折返したりする部分の革を漉き機を使って薄くする「漉き」の作業を行います。

PROCESS

03



『芯材の漉き』

芯材にも漉きを施します。

革と同じように、芯材にも「漉き」の加工を施します。割りや漉きの加工は料理で言えば下ごしらえ。0.1mm単位で厚みを調整していきます。ランドセルの強度や軽さ、出来上がりの美しさに影響する繊細な職人技です。

ランドセルのひと

時に厳しく、時にやさしく
生田の頼れる工房長

Q.どんな想いでランドセルを作っていますか？

A.毎日学校に行く時に、ランドセルを背負って登校するのが楽しいなと思ってもらえたらなあーと思って作っています。

Q.生田のおすすめポイントを教えてください。

A.糸の色を変えたり、内装の柄を変えたりと、自分だけのオリジナルのランドセルを作ることが出来ます。HPでシュミレーションして画像を見ることが出来ますよ！

宮崎 義隆

YOSHITAKA MIYAZAKI



かばんや革に対する豊富な経験と知識を備え、若手職人からの信頼も厚い工房長です。

展示会でも気軽にご質問ください。